

6年「なれなかったリレーの選手」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう1文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「在り方」「見方・考え方」「意味」「なぜ大切なのか」「よさ」「態度・意欲」の観点で考えさせる
- つなぎ発問②**…主題発問で考えたことと、子どもの生活とをつなぐような話を入れる。そして、自分との関わりで、振り返りを行うことができるように、道徳的価値を入れた振り返りの観点を説明する
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりして振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

「皆さんの考え方や行動は、もっとよくなります。そのために振り返りましょう」

まず、今日の学習から、学んだこと・分かったことを書きましょう そして、次のことについて書きましょう ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感） ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識） ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働） ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※この中から、先生がいくつか指定して書かせる、または、子どもが自分で選んで書かせます

※振り返りの4観点を取り入れて、低中高学年別、またABCD別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	自分の限度を知る
導入	一日は、誰にでも24時間しかありませんね。この中で、どんなことを考えて生活するとよいのでしょうか
展開前段	○お母さんに「いくら楽しいことでも、限度があるでしょう」と言われたとき、「ぼく」は、どんなことを思ったでしょう ○慌てて布団に入ったとき、「ぼく」は、どんなことを思ったでしょう ○選手になれないと決まったとき、「ぼく」は、どんなことを思ったでしょう
つなぎ発問①	○「ぼく」は、どうすべきだったのでしょうか ○「楽しいことでも限度がある」例えば、寝る時刻の限度は、何時でしょう。また、ゲームをする時間の限度は、何時間でしょう。携帯電話を触るときは、どんな限度があるのでしょうか ○その限度は、どのように考えて決めるとよいのでしょうか

展開後段	限度を決めて生活することは、どうしてよいのでしょうか
つなぎ発問②	自分の限度が分かるのは、すぐにはできないかもしれません。生活しながら、少しずつ、よいように変わっていきたいものですね ・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか ・①のことで、もうすでに、やっているよということはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか ・①のことをもとに、自分の生活が、どのようになるとステキだなと思いますか では、振り返りを書きましょう
振り返り	